

岩美町立小・中学校及び倉吉市立小・中学校の児童生徒の保護者の方へ

研究課題名 「子どもの学習方略および非認知能力に関する要因の検討」（審査番号：2025-36）

鳥取県教育委員会と兵庫教育大学では、令和3年度から取り組んでいる「とっとり学力・学習状況調査の情報」を用いて岩美町教育委員会及び倉吉市教育委員会と協働して研究を実施しています。このたび、兵庫教育大学を対象とする研究に関する倫理審査委員会の承認並びに学長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによりお子様や皆様への新たな負担は一切ありません。本研究への協力を望まれない方は、令和8年1月6日（火）までにその旨を「5. お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1. データの利用目的

本研究の目的は、学力レベルに関連すると考えられる学習方略、非認知能力に影響する要因を明らかにすることです。非認知能力とは、学力等の認知能力を除く能力の総称です（評価内容は「2. 研究の方法」を参照）。本研究の成果は、県・市町村教育委員会及び学校が行う教育施策・指導の改善に利用されます。そのため、鳥取県の実施する調査にて集めたデータを活用します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

令和7年度から令和8年度までの期間のうち、鳥取県岩美町及び倉吉市の小学校第4学年から第6学年または中学校第1学年から第3学年に在学経験のある児童生徒を対象とします。

2) 研究実施期間

研究全体期間：倫理承認日～令和10年3月31日

調査対象期間：倫理承認日～令和9年3月31日

3) 提供開始予定日

令和8年1月13日

4) 使用する情報

令和7,8年度の以下の情報を使用する。

- ・性別
- ・学年
- ・「見え～る」データ
 - ・学習方略（柔軟的方略、プランニング方略、作業方略、認知的方略、努力調整方略）
 - ・非認知能力（自己効力感、自制心、向社会性、勤勉性、やりぬく力）
- ・鳥取県教育委員会による独自アンケートについて
 - ・自律性支援
 - ・アタッチメント機能
 - ・養育行動
 - ・家庭の物質的資源
 - ・インターネット依存
 - ・生活習慣（身体活動、スクリーン視聴、睡眠習慣）
- ・標準学力調査の結果（岩美町のみ）

3. 情報の取り扱い

本研究においては、鳥取県教育委員会の所有する情報を兵庫教育大学にて分析します。その際、分析を行うのは「4. 研究組織」に示した研究者であり、個人情報は削除したデータを利用します。なお、論文発表後10年間保存した後、情報は全て廃棄します。研究の成果は、個人情報が特定されない形で学会発表や学術雑誌等にて公表します。

4. 研究組織

【研究機関名及び研究責任者】

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 人間発達教育専攻 学校心理・学校健康教育・発達支援コース
教授・岡本 希

【共同研究者】

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 人間発達教育専攻 学校心理・学校健康教育・発達支援コース
教授・秋光 恵子
教授・藤原 和政
准教授・細谷 里香
准教授・鳥取 伸彬
講師・清水 真由子

【情報の提供機関】

鳥取県教育委員会事務局小中学校課学びの改革推進室
参事監兼課長・岸田 靖弘
係長・三村 直樹

5. お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記までお申し出ください。本研究への参加を断られても、お子様や皆様に不利益が生じることはありません。

【研究協力を望まれない方のお問い合わせ先】

受付期間：令和8年1月6日まで

機関：鳥取県教育委員会事務局小中学校課学びの改革推進室

連絡担当者：三村 直樹

電話番号：0857-26-7947

e-mail : shouchuugakkou@pref.tottori.lg.jp

【研究内容に関するお問い合わせ先】

機関：兵庫教育大学大学院学校教育研究科

研究責任者：岡本 希

電話番号：0795-44-2180

e-mail : onozomi@hyogo-u.ac.jp